

事業所名	グループホーム あかいわ ※
日付	平成19年10月23日
評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター
評価調査員	介護支援専門員・介護福祉士 訪問介護員
自主評価結果を見る	リンク
評価項目の内容を見る	リンク
事業者のコメントを見る (改善状況のコメントがあります!)	※

2. 評価結果 (詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か ・「安心した毎日を、心豊かな暮らしを」を基本理念として、「安心」「快適」「自立意欲」に着目したケアの実現を目指している。 ・職員と共に生活しながら「自立への意欲」の啓発と「安心」な医療体制、「快適」な共有空間・プライバシー・尊厳の保護に取り組み家庭的な雰囲気の中で自分らしい暮らしの実現を目指している。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か 安心して暮らしてもらえる為の場づくりとして、家庭的な雰囲気の中で暮らし慣れた家具と生活暦を活かしてその人らしさを大切にしたい支援を心掛けている。 入居者一人ひとりの残存機能に合わせた接遇に心掛けて生活空間づくりと、共用の場づくりに取り組んでいる。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人で行えることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

1. 評価結果の概要

<p>講評 全体を通して (特に良いと思われる点など)</p> <p>1. 「グループホームあかいわ」は、ケアハウスなどの複合施設の一部にあり、広い敷地内は整備されており、池には鯉が泳いでいる。景色を楽しみながら自由に散歩でき、菜園には季節の野菜などを作って生活にうおいを与えている。又、外回りは通学路になっていて、子供たちの姿や声は入居者へ好影響を与えている。</p> <p>2. 生活暦を大切にされたケアが行なわれており、一人ひとりの希望への挑戦と要望の具体化・残存機能の向上に取り組んでいる。入居者の中には、職員の適正な支援で主婦の感覚を取り戻し、自立してケアハウスに転居した方もおり、職員の努力と熱意が感じられた。</p> <p>3. 医療体制が整っており、福祉と医療の両面で安心したケアが提供されている。多種にわたる医療的予防もマニュアル化されていて基本理念の「安心」「快適」「自立意欲」の実現に取り組んでいる。</p>
<p>特に改善の余地があると思われる点</p> <p>今以上に、地域に開かれたホームを目指し、社会福祉施設の使命と残存意義を広めていかれることを期待いたします。</p>

III ケアサービス (つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か ・入居時、趣味や要望など詳細に聞き取り、入居者の特性を活かせる支援が行なわれている。 ・日常生活動作の中にやる気と喜びが見出せる支援を心がけ、残存機能の維持と向上に取り組んでいる。(グループホームへ入所して機能を回復し自立した入居者もある。) ・日々の支援の中で、居室へは本人の了解を得てから入る・排泄誘導の時の尊厳保持など、常にプライバシーの保護に努めており、個人情報保護法の基、書類の管理も厳重に行なわれている。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 月1回の現場会議で日々の介護についてどんな些細な事も話し合い意見を出し合っている。又、会議後は全職員で現場研修を行い家族会などから出された要望や意見を日常のケアに反映させる取り組みがなされている。 ヒヤリハットや事故の報告を徹底し、全職員で問題発生を未然に防ぐ方法と対策に努めている。ニュースなどで取り上げられている事故なども自分たちの問題としてとらえ常にあんぜんへの取り組みに努めるよう心掛けている。		